

大腿骨近位部骨折(人工骨頭挿入)手術 を受けられる患者さんへ

患者氏名 :

さん

主治医 :

経過(病日等)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1~2日目	手術後3~7日目	手術後8~20日目	退院日(手術後21日目)	
月日(日時)	/	/	/	/	/	/	
達成目標	手術の流れが理解でき、禁止事項を守ることができる。		痛み緩和法を用いて痛みの緩和ができる。自力/一部介助で車椅子に移ることができる。		痛み緩和法を用いて痛みの緩和ができる。自力/一部介助で自助具を用いて歩行できる。		退院できる。
リハビリスケジュール	大腿骨近位部骨折(FHR)のパンフレットに沿ってリハビリを行います。						
			手術後1日目: 平行棒内訓練 車椅子移乗開始	手術後5日目: 歩行器訓練開始	手術後11日目から杖歩行訓練開始		
治療注射処置	入院時に検温(血圧、脈拍、体温測定)に伺います。手術室で手術着に着替え、点滴を行います。血栓予防の弾性ストッキングをはきます。 	抗生剤の点滴をします。酸素、血圧計、心電図モニターを翌日まで装着します。両足にフットポンプ(マッサージ器のようなもの)を装着します。 	検温に伺います。 手術後1日目 酸素、血圧計、心電図モニターを外します。 手術後2日目 21時の抗生剤点滴終了後に針を抜きます。	手術後3日目: フットポンプを外します。口腔外科受診があります。 	手術後10日目 弾性ストッキングは外す予定です。 		
内服	アレルギー・副作用の有無を確認します。常用薬のある方は、薬の内容確認のため、薬とお薬手帳を看護師へお渡し下さい。中止する薬がある場合は看護師よりお伝えします。薬は看護師がお配りします。		持参されたお薬の内服を開始する予定です。 	手術後3日間は、看護師が内服薬を管理しますが、それ以降は状態に合わせて自己管理にするかを決めます。 			
検査	必要に応じ、レントゲン・心電図・採血・採尿を行います。 	採血、レントゲンがあります。 	手術後1日目 採血があります。 手術後2日目 CTがあります。 	手術後7日目 採血、レントゲン撮影、骨密度の検査があります。 	手術後14日目 レントゲン撮影があります。 		
食事	入院後～食べたり飲んだりできません。 	手術後、飲食の開始時間をお伝えします。	食事は病室へ配膳しますが、食堂利用希望の方は看護師へお伝え下さい。毎食、ご飯/おかずの摂取量を確認します。 				
排泄	 尿の管を入れ、オムツを着用します。		手術後1日目に尿の管を抜きます。 	毎日、排便・排尿回数(前日9時～当日9時まで)を確認します。活動状況に合わせてトイレ介助します。			
活動		翌朝までベッド上安静です。 	理学療法士の進行状況に合わせて活動範囲を広め、移動方法を確認します。 				
清潔			身体拭き用の蒸しタオルをお渡しします。 	口腔外科で処方されたネオステリングリーン液(うがい薬)でうがいします。(使い切り終了)→使用継続したい場合は市販のマウスウォッシュでも代用出来ますのでご自身で購入して下さい。	手術後8日目に創部を保護してシャワー浴ができます。(曜日を決めて行う予定です) 		
患者さん及びご家族への説明生活指導栄養指導服薬指導	入院・病棟案内、治療計画表の内容、手術の流れについて説明します。入院診療計画書をお渡しします。入院前の生活活動状況の確認します。入院後の生活で心配なことをお知らせ下さい。貴重品は、患者さんまたはご家族で管理して下さい。手術に必要な物品を準備して下さい。 ・オムツ1枚 ・バスタオル1枚 ご家族の方は手術中、病室でお待ち下さい。	手術終了後、医師より説明があります。	手術後2日目以降に栄養指導を行う予定です。入院時に配布したパンフレットに沿って禁忌肢位の説明を行いながら生活指導を行います。 		退院前日、または退院日に日常生活での注意点を説明します。	退院は10時までにはお願いします。退院日が平日の場合は会計書をお渡しします。(休日の場合は、後日、会計費用をご連絡します)次回受診日の説明を行います。リストバンドを取り外します。 平日の場合、薬剤師より退院処方についての説明があります。 	
			入院中は禁煙厳守・飲酒も禁止です				

注1 この計画書は、現時点で考えられるものであり、今後検査等によって変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。計画書通り、退院日の準備をお願いします。